

子どもは地方創生の主役です

第 91 号 2015. 3. 23

ぶちか 議会だより

子ども議員堂々と小値賀の課題を問う・ 2

子ども議会開催 23 人が質問

27 年度当初予算可決 6

平成 27 年第一回定例会開催

小値賀こども園設置へ 12

一般質問 (2 人の議員が登壇) 14

4 年間の総括 (小値賀町議会白書) 18

いつ出るの? 今でしょ 20

女性議員・若手議員の誕生を期待

編集 小値賀町議会 広報常任委員会

発行責任者 小値賀町議会議員

電話 0959-56-3111

堂々と小値賀の課題を問う



子ども議員が はつらつと 小値賀小学校 6 年生による子ども議会を 2 月 2 日に開催

「臨時議長の山下翔護です。只今から会議を開きます。」の声で小値賀小学校 6 年生全員による「子ども議会」が開催されました。

いささか緊張した面持ちで本物の議員席に着く子ども議員 23 人。

「議長の選挙を行います。選挙は投票で行いたいと思います。ご異議ありませんか？」

「異議なし。」と元気の声。

「議場出入り口を閉めます。」書記役の川口みさとさんは議場の出入り口に鍵をかけました。

「投票箱の点検」の言葉に事務局長役の神崎耕輔君が投票箱を確認します。

開票が始まり、開票結果が臨時議長に報告されました。

「開票の結果、戎本かりん議員が議長に選出されました。これを本人に告知します。戎本議員、議長席にお着きください。」

戎本新議長が静かに議長席に着くと、会議録署名議員の指名、会期の決定を行い、副議長の選挙に入りました。

「選挙の方法は、指名推選にしたいと思います。がご異議ありませんか。」

「異議なし」の声を受けて議長は、川口智哉議員を副議長に指名しました。

これで合議体としての議会の出発です。

「一般質問を行います。1 番川口智哉議員及び 2 番馬田浩則議員」と戎本議長は発言を許可しました。

「はい」と返事して、2 人の議員は質問席に登壇。質問事項を 2 人で分

担して発言しました。

今回は、小学 6 年生の数が 23 人（大島分校 1 人を含む）であったので、2 人を一組として質問するようにしました。

どの質問も現状の小値賀の課題に切り込むもので、鋭い視点からの発言や再質問がなされ、西町長以下、各部署の担当者も丁寧に分かりやすく答弁をしていただくなど、充実した 2 時間となりました。

戎本議長とバトンタッチして議事を進めていた川口智哉副議長が、「以上で、本日の日程は、全部終了いたしました。」と発言。この後、西町長



の挨拶と子ども議員代表川口みさとさんの言葉、石司教頭先生の挨拶が述べられ、川口副議長が「以上をもちまして、平成 27 年小値賀町子ども議会を閉会します。」と宣言し、子ども議会は終了しました。

今回の事が少しでも政治に関心を持ち、民主主義の担い手として、行動を起こしていくきっかけになれば幸いです。今後も議会としては、子ども議会を恒例化して開催していきたいと思っています。

以下、一般質問の質問事項です。紙面の都合上質問と答弁の全文を掲載できなくて申し訳ありません。議事録は、議会のホームページにアップしておりますので、参照してください。

①バスの運行について
質問者 川口智哉
馬田浩則

②道路の整備について
質問者 山元春花
福田匡洋



③イノシシ対策について
質問者 村中敬一
高砂葉音

④医療の充実について
質問者 北村和紀
矢羽田 瞬

⑤公園の整備について
質問者 伊藤理子
後藤 翼

⑥空港について
質問者 橋本虎太郎
守山一徳

⑦ゴミについて
質問者 永田和人
福岡結衣

⑧観光・公共施設について
質問者 博多屋瑞樹
川口みさと



⑨空き家・空き地対策について
質問者 山下翔護
神崎比那

⑩海の整備について
質問者 戎本かりん
神川 陸

⑪船の運航について
質問者 升水汐里
神崎耕輔

⑫島における若者の就職について
質問者 竹本明日香

23人の値小6年生から子ども議会の感想をいただきました。抜粋して掲載します。



この度の勉強が、地域のことや、よりよい民主主義を考えるきっかけになることを期待しています。小値賀っ子の未来に希望を託して。

「もし、僕が国会に参加したら、子ども議会みたいに動いていきたいです。」



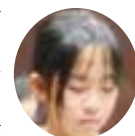
【川口智哉】

ぼくは、バスの運行についての質問をする時も、副議長で議会を進行する時も、とても緊張しました。でも、町をよくするためにがんばって話し合うことはすごいことだと思ふし、カッコいいと思います。



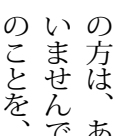
【馬田浩則】

ぼくは、リハーサルの際は、緊張しました。でも本番は、ちゃんと考えたので、よかったです。議員になって、うれしかったです。もう1回、議員になりたいです。



【山元春花】

私は、いすに座っているだけでも最初は、緊張していました。でも、最後



【高砂葉音】

私は、「イノシシ」について町長さんに質問しましたが、とても緊張してしまい、かんたりに上手に伝えられなかったりしてしまいました。でも、発言を工夫したり、みんなの小値賀の事を話し合ったりして、とてもいい体験ができました。



【福田匡洋】

今、習っている、社会では、政治について習っています。だから、今回の体験は、よかったなと思います。町長さんたちは、ぼくたちが、質問をしたときに、わかりやすく教えてくれました。これからは、この事を忘れずに役立てていきたいです。



【村中敬二】

ぼくは、質問をするとき緊張しました。西町長や、ほかの人がわかりやすく答えてくださいました。失敗したかもしれないけど、ぼくにとてもいい体験になりました。



【北村和紀】

今回は、議長を決める選挙もして、良い経験になりました。とても緊張したけど、町長さんに質問することができて良かったです。



【矢羽田瞬】

リハーサルで練習したけど、いろんな人がいて緊張しました。ぼくは、



【伊藤理子】

私は事務局長をやりました。町長さんと初めて話すので、とてもあせりました。話し合った事が、今後の小値賀にどうつながっていくのか楽しみです。



【橋本虎太郎】

リハーサルとは全然ちがう雰囲気でも緊張しました。小値賀のことを話し合う大変さが分かりました。でも自分の意見がしっかりと出てよかったです。



【守山一徳】

ぼくは、緊張しながら議場に入りました。みんなどんどん発表して、ついにぼくたちの順番になりました。まちがえずに自信もって言えたのでよかったです。



【後藤翼】

議場に入ると、とても緊張しました。初めて議員をしました。普通は、こんな体験ができないので、うれしかったです。ぼくは、あまりにも緊張したので、再質問ができませんでした。



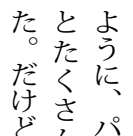
【永田和人】

何時間もまでいるのは、とてもきつかったです。議員になって質問をして、改めて小値賀の問題点が分かりました。質問したり、議場に入って議会を体験できるなんて思わなかったの、いい経験ができました。



【福崎結衣】

ました。



【博多屋瑞樹】

はじめは議会がどんなものかわからなかったけど、実際にしてみたら、とてもいい勉強になりました。



【川口みさと】

自分たちで考えた質問・提案を直接、西町長に質問できる機会はないので、いい体験ができました。小値賀のために役場



【神崎比那】

私は、子ども議会を体験して、すごく緊張しました。初めての体験だったので、不安でした。でも、私の質問に簡単な言葉で答えてくださったので、くわしい話をしてくださって、とても分かりやすかったです。



【山下翔護】

僕は、臨時議長をしました。議長はいろいろな事に取り組んでいることが分かりました。



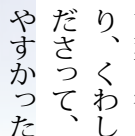
【神崎比那】

私は、子ども議会を体験して、すごく緊張しました。初めての体験だったので、不安でした。でも、私の質問に簡単な言葉で答えてくださったので、くわしい話をしてくださって、とても分かりやすかったです。



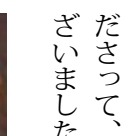
【神崎比那】

私は、子ども議会を体験して、すごく緊張しました。初めての体験だったので、不安でした。でも、私の質問に簡単な言葉で答えてくださったので、くわしい話をしてくださって、とても分かりやすかったです。



【神崎比那】

私は、子ども議会を体験して、すごく緊張しました。初めての体験だったので、不安でした。でも、私の質問に簡単な言葉で答えてくださったので、くわしい話をしてくださって、とても分かりやすかったです。



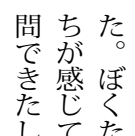
【神崎比那】

僕も議長をしましたが、議長はいろいろな事に取り組んでいることが分かりました。本日はできない選挙などもして、とても勉強になりました。私たちの考えた質問もわかりやすく答えてくださって、ありがとうございました。



【神崎比那】

議員の人たちは、小値賀をよりよくするためにいろいろなことを考えていることがわかりました。ぼくたちも、自分たちが感じていることを質問できたし、町長さんたちがいてねいに答えてくれたので、とてもわかりやすかったです。



【神崎比那】

私は、子ども議会を体験して、すごく緊張しました。初めての体験だったので、不安でした。でも、私の質問に簡単な言葉で答えてくださったので、くわしい話をしてくださって、とても分かりやすかったです。



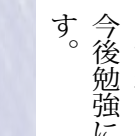
【神崎比那】

私は、子ども議会を体験して、すごく緊張しました。初めての体験だったので、不安でした。でも、私の質問に簡単な言葉で答えてくださったので、くわしい話をしてくださって、とても分かりやすかったです。



【神崎比那】

私は、子ども議会を体験して、すごく緊張しました。初めての体験だったので、不安でした。でも、私の質問に簡単な言葉で答えてくださったので、くわしい話をしてくださって、とても分かりやすかったです。



【神崎比那】

私は、子ども議会を体験して、すごく緊張しました。初めての体験だったので、不安でした。でも、私の質問に簡単な言葉で答えてくださったので、くわしい話をしてくださって、とても分かりやすかったです。



ミニトマト集出荷場建設に 1112 万円

イノシシ侵入防護柵設置事業に 1565 万円

浜津、納島漁港機能保全工事に 4700 万円



平成27年 第一回定例会

平成27年度当初予算を可決
一般会計25億6600万円

3月3日から11日の9日間、平成27年第一回定例会が開催されました。初日は、一般質問を行いました。2人が登壇し、西町政の評価、土曜授業実施について考えを質しました。(14頁～15頁)傍聴者は9人でした。現在、国が力を入れている地方創生の推進に議会として取り組むため、地方創生まちづくり特別委員会を設置することにしました。

今回の定例会は、条例案が18件、予算案14件、指定管理者の指定3件、委員会設置他2件、長崎県総合事務組合の変更、監査委員選任の同意、意見書案各1件を審議しました。(11頁～13頁)最終日には、来月に迫っている町議会選挙に向けて、若者の立候補を促すために50歳以下の議

員の報酬を月額30万円とする「地方創生の推進のための小値賀町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の特例を定める条例」を制定しました。(20頁)このような条例は、全国でも稀なもので、新聞社の取材も行われ、問い合わせが相次ぎました。

平成27年度当初予算は、予算特別委員会を設置し審議しました。(7頁～9頁)

歳入の主なものとは地方交付税が前年度比4000万円増の15億9000万円。歳出では民生費4億9700万円、農林水産業費で4億2100万円です。

主要事業は、ミニトマト集出荷場建設に1112万円、浜津港、納島港の機能保全工事に4700万円、松くい虫防除関

係事業に2200万円、障害者自立支援給付事業に8900万円などです。なお自主財源は3億8100万円(17.5%)、依存財源は2億8500万円(82.5%)となっています。

予算特別委員会を設置し審議

3月4日から6日までの3日間に亘り予算特別委員会が平成27年度当初予算を集中審議しました。

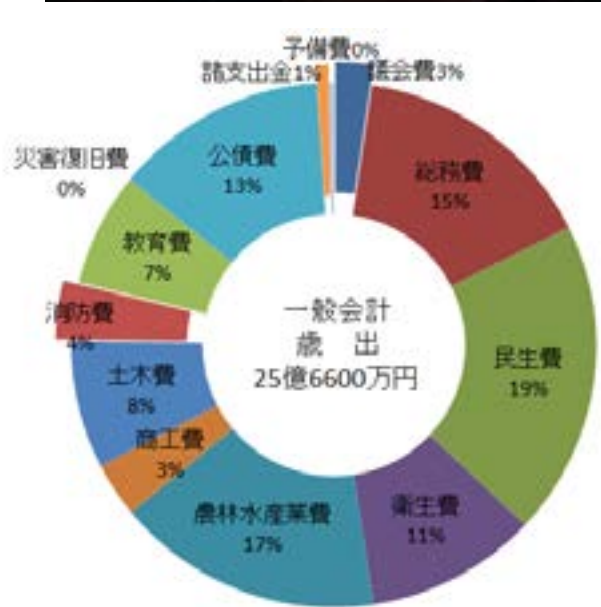
3日間、活発な質疑がなされ、6日には、全会

一致で予算案を議決すべきものと決しました。これを受けて、本会議で27年度当初予算は、原案のとおり決定いたしました。

主な質疑は次のとおり



予算特別委員会審査



歳出

議会費	5952万2000円
総務費	3億9258万9000円
民生費	4億9758万4000円
衛生費	2億7132万8000円
農林水産業費	4億2149万3000円
商工費	8640万7000円
土木費	2億196万6000円
消防費	9196万1000円
教育費	1億8013万円
災害復旧費	8000円
公債費	3億3641万2000円
諸支出金	1940万円
予備費	720万円

問…離島活性化交付金の充当先は？

答…教育旅行支援事業

問…特別交付税が前年度比5000万円増額したのは？

答…福祉事務所の設置に伴うものとして7000万円、その他診療所や渡船に対する補助が確実に見込めるため計上した。

主な質疑(歳入)

です。

歳入

町税	1億5425万1000円
地方譲与税	2080万1000円
利子割交付金	22万円
配当割交付金	15万円
株式等譲渡所得割交付金	4万円
地方消費税交付金	3880万円
自動車取得税交付金	200万円
地方特例交付金	5万円
地方交付税	15億9000万円
交通安全対策特別交付金	1000円
分担金及び負担金	954万6000円
使用料及び手数料	4755万1000円
国庫支出金	1億8119万6000円
県支出金	2億3448万4000円
財産収入	2199万7000円
寄附金	9000円
繰入金	3229万1000円
繰越金	5900万円
諸収入	5661万3000円
町債	1億1700万円



渡船事業特別会計

予算総額 5800 万円

主な歳入 国庫支出金 2195 万 7000 円

繰入金 1940 万円

主な歳出 渡船事業費 5740 万円

主な質疑

問：「はまゆう」の新建造の時期は？

答：航路対策協議会の中での改善計画で決まるが、平成 27 年度中に出来ればと思う。

下水道事業特別会計

予算総額 1 億 6870 万円

主な歳入 繰入金 1 億 4200 万円

事業収入 2569 万 7000 円

主な歳出 公債費 1 億 1662 万 9000 円

総務費 5167 万 1000 円

主な質疑

問：マンホール点検の箇所は？

答：笛吹小浜町にある古民家下のマンホールポンプを引き上げて、島外の工場へ搬入しオーバーホールを予定している。



後期高齢者医療事業特別会計

予算総額 4540 万円

主な歳入 繰入金 2230 万 9000 円

後期高齢者医療保険料 2074 万 8000 円

主な歳出 分担金及び負担金 4259 万 9000 円

総務費 277 万円

主な質疑

問：保健事業費委託料の 100 万円の内容は？

答：インフルエンザのワクチン接種、健診で行うエコー検査、がん検診の個人負担分に充てようと考えている。

簡易水道事業特別会計

予算総額 7810 万円

主な歳入 事業収入 5398 万 2000 円

繰入金 2311 万 4000 円

主な歳出 公債費 4071 万 2000 円

総務費 3698 万 8000 円

主な質疑

問：今後の野崎島の飲料水提供の考えは？

答：現在の施設は使用せず、野崎ダムからの取水を考えている。

問：六島の飲料水提供の現状は？

答：ため池からの取水に切り替えて稼働しており、海水淡水化に比べ経費節減になっている。

国民健康保険診療所特別会計

予算総額 4 億 1900 万円

主な歳入 診療収入 3 億 463 万 4000 円

繰入金 8520 万円

主な歳出 総務費 2 億 1194 万円

医業費 1 億 9631 万 1000 円

主な質疑

問：ジェネリック医薬品の導入割合は？

答：平成 25 年度の決算で 22% だった。目標としては 30% に近づきたい。

問：特殊外来について耳鼻咽喉科、皮膚科等を増やす計画はないか？

答：県やその他のネットワークを通じて実現できないか考えている。

答：尼忠東店に蛇踊りを

問：地域の元気づくり支援事業補助の事業内容は？

答：婚活イベントを含むセミナー開催の委託料、専門のコンサル

業者と提携したイベントを数回予定している。

問：結婚対策セミナーの事業内容は？

主な質疑（歳出）

人材育成事業、離島留学の研究事業、地域子育て支援拠点事業、離島流通効率化コスト改善事業、藻場再生事業に充てる。



展示するので、その修復費用。

問：孤独死予防対策で考

えていることは？

答：独居老人ベルでは十分でないと考えている。今後、消防署等に連絡が行くような方法や、他の自治体を研究して本町に導入できるものがないか検討したい。

問：海岸漂着物地域対策推進事業の実施箇所は？

答：今年 9 月世界遺産関係の現地調査があるが、それに備えて野崎、野首、舟森の海



問：イノシシ侵入防護柵設置事業の実施箇所は？

岸を重点的に行う。



答：25・26 年度は前方、柳地区を重点的に実施したが、残りの浜

津、中村、大浦、笛吹在、斑など海岸からの侵入を防ぐためワイヤーメッシュを設置する。

問：野崎島のビクターセ

ンターの概要と入島

税徴収の考えは？

答：管理人が宿泊し炊事が出来る施設を考えている。入島税等については検討中。

平成 27 年度 特別会計予算

7 会計の合計は、17 億 4860 万円（前年度比 1147 万円増）

介護保険事業特別会計

予算総額 4 億 3000 万円

主な歳入 保険料 5633 万 9000 円

国庫支出金 1 億 2490 万 8000 円

主な歳出 保険給付費 4 億 260 万円

地域支援事業費 2301 万 9000 円

国民健康保険事業特別会計

予算総額 5 億 4940 万円

主な歳入 国民健康保険税 9308 万 2000 円

国庫支出金 1 億 2530 万 2000 円

主な歳出 保険給付費 3 億 459 万 8000 円

共同事業拠出金 1 億 3541 万円

きたい。

問：地域包括支援センター運営事業強化の内容と考え方は？

答：新たな総合支援事業に向けて態勢を整えていく必要がある。1 名退職の補充と新たに看護師を補充することで態勢を強化したい。また現在の事業も含めて、メニューを増やしていきたい。

問：滞納繰越で 5 年経過して時効になったものはないか？

答：時効になったものは徴収できないので入ってはいいない。滞納全体の 10% を徴収する計画で算定している。

プレミアム商品券発行事業に 870 万円

いよいよ、地方創
生関連の交付金が

今回の補正予算の特徴
は、国が進める「まち・
ひと・しごと」創生に関
する国庫補助金が先行型
交付金として交付された
ことです。年度末にもか
かわらず新規事業が計上
されているのはそのため

平成 26 年度 一般会計補正予算 (第 5 号)

歳入歳出それぞれ 1 億 4356 万円を追加し、
予算総額を 31 億 5986 万 7000 円に

主な歳入補正		主な歳出補正	
地方交付税	9475 万 2000 円	総務費	1 億 3854 万円
町債	4350 万円	商工費	2001 万 5000 円
国庫支出金	4064 万 5000 円	民生費	533 万 1000 円減
繰入金	2462 万 6000 円減		

です。
これらを基にした主な
事業は、小値賀町総合戦
略策定事業に 53 万円、加
工品の開発、先進地視察
等の 6 次産業化支援事
業に 998 万円、観光
案内板等の整備事業に
650 万円などです。
また、国の「地域消費
喚起・生活支援型」交付
金を活用した、島内限定
で利用できる 2 割お得な
商品券を発行する事業に
870 万円が計上されま
した。1 万円で 1 万 20
00 円分の商品券が購入
できるもので、4120
セット発行予定です。
詳しいことは、広報等
でお知らせすることにな
ります。ご利用ください。
平成 26 年度一般会計補
正予算は、慎重に審議し
た結果、原案どおり可決
されました。

国の「地域消費喚起・生活支援型」
交付金を活用し、プレミアム付き
商品券の発行を決める自治体が相
次ぐ。



平成 26 年度 特別会計補正予算

国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 2 号)

歳入歳出それぞれ 856 万 4000 円を追加し、
予算総額を 5 億 1000 万 8000 円に

主な歳入補正		主な歳出補正	
繰入金	1491 万 8000 円	保険給付費	1540 万円
共同事業交付金	1398 万 3000 円減	共同事業拠出金	616 万 4000 円減

介護保険事業特別会計補正予算 (第 3 号)

歳入歳出それぞれ 3880 万 6000 円を減額し、
予算総額を 4 億 317 万 4000 円に

主な歳入補正		主な歳出補正	
支払基金交付金	1957 万 3000 円減	保険給付費	3919 万 3000 円減

後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第 2 号)

歳入歳出それぞれ 83 万 3000 円を減額し、
予算総額を 4729 万 9000 円に

主な歳入補正		主な歳出補正	
後期高齢者医療保険料	127 万 9000 円減	分担金及び負担金	144 万 9000 円減

渡船事業特別会計補正予算 (第 3 号)

歳入歳出それぞれ 115 万円を減額し、
予算総額を 6885 万円に

主な歳入補正		主な歳出補正	
県支出金	100 万円減	渡船事業費	115 万円減
		国庫支出金	35 万円減

国民健康保険診療所特別会計補正予算 (第 3 号)

歳入歳出それぞれ 1250 万円を減額し、
予算総額を 4 億 1422 万 4000 円に

主な歳入補正		主な歳出補正	
診療収入	1121 万円減	総務費	824 万 7000 円減
		医業費	420 万円減

議員提案で制定した 債権管理条例を改正

昨年の 12 月に議員提案され可決されたばかりの条例を
今回は町長提案で改正へ

平成 25 年の予算審議に
おいて指摘されたことか
ら始まった税の滞納処分
問題、特に時効の問題は、
1 年半以上の時間をかけ
て、ようやく一区切りを
迎えました。

議会においても平成 25
年 9 月に滞納に関する特
別委員会を設置して、税
の滞納金の時効、不納欠
損額が多額に発生するこ

とになった原因、滞納者
や滞納額が急激に増加し
た現状の分析をして、今
後にむけて債権管理条例
の制定の必要性を示しま
した。(この特別委員会
の最終報告書について
は、議会だより第 88 号に
掲載しております。)

上位法である法律に滞
納に関する取り決めは規
定されているとの理由で、
執行部は債権管理条例の
制定に前向きではなかつ
たので、昨年 12 月の臨時
会で議会から議員提案で
小値賀町債権管理条例を
制定しました。



すると、執行部は本定
例会に、債権管理条例の
一部を改正する案を提出
してきました。改正の主

監査委員選任の同意

この度、新たに村田宏司氏を選任したい
との申し出に議会は同意いたしました。
厳しい財政運営を迫られている中で、
大変ご苦労かけますが、よろしく願い
申し上げます。



村田宏司氏

重責ではありますが、監
査委員としての職務を自覚
し、誠意をもって努めてま
いりますので町民の皆様方
にはどうぞ宜しくお願いいた
します。

るものです。
改正案は原案どおり可
決しました。

議会の動きが、執行部
をその気にさせたので
す。

このような事例は、今
後の議会と執行部の新た
な関係へとつながるもの
だと考えます。
お互いに切磋琢磨して
いきたいと思っています。

このようなことが決まりました

保育所・幼稚園の一元化から

「小値賀こども園」設置へ

小値賀こども園設置条例可決



本町では、平成16年から、特区として申請し、幼稚園と保育所を統合して運営してまいりました。

国では、後追いの形で、所管が異なった幼稚園と保育所を統合し、「こども園」構想を打ち出し、法律もつくりました。

それに基づき、小値賀町も、幼保連携型の認定

こども園として、小値賀こども園を設置するものです。

場所は現在のところでは、今回の条例は、入園の資格や手続き、保育料、保育料の減免について規定するものです。

定員は、満3歳以上、教育標準時間認定20名、満3歳以上・保育認定35名、満3歳未満・保育認定25名です。

開園時間は、平日・土曜日とも午前7時30分から午後6時30分です。

保育時間は、平日・土曜日とも午前7時30分から午後5時30分です。（ただし、1時間の延長も可能です。）

■重要文化的景観の中心が交流の場に■

商家尼忠東店設置条例可決

町に寄贈していただいた旧尼忠東店を整備してお年寄りや地域の方、バスを待つ方、来島者などが自由に利用できる施設に模様替えしました。

尼忠東店は、旧野首教会と同じ年の明治41年に完成しています。

昭和時代の商家造りの雰囲気味わうことが出来ますし、昭和の商品など、懐かしい品物も展示される予定なので、訪れてみてはいかがでしょうか？



改修した旧尼忠東店内部



重要文化的景観の重要な構成資産ですので、所管は、教育委員会です。単に維持管理するだけではなく、有効に活用する施設にしたいとの考えです。ご活用ください。

小値賀小中学校完全給食開始

学校給食共同調理場設置条例可決



給食調理場内部

各種委員等報酬及び費用弁償条例の一部改正

小値賀小中学校校舎横に給食室が完成しました。いよいよ本年の6月から完全給食が始まります。衛生面に十分な配慮がなされた造りで、最新の設備が整っており、人の流れなどがよく考えられ無駄なく動けるようになっていきます。

アレルギー体質者用の専用調理室も設けられています。

また、学校給食共同調理場を適正かつ円滑に運営するために、学校給食調理場運営委員会を設置することにしております。

この条例を制定するにあたり、学校給食調理場運営委員の報酬も合わせて決めました。

いずれも、原案どおり可決しました。

6月から 学校給食開始予定



介護保険条例の一部を改正する条例

平成27年度から29年度分の介護保険料を改定するものです。

これまでは、6段階であった保険料を9段階にし、保険料の基準を月額5070円にします。これを基準に収入に応じて保険料率を設定しています。一番低い収入の人は基準の0.5の2535円になります。

町有財産の使用料徴収条例の一部改正

町の駐車場の月極め料金について、現状では月3000円を徴収していますが、条例に書き入れるべきものなので、今回明記することにしました。

法の改正により、教育委員長職は教育長に一本化へ

職員定数条例の一部改正

特別職報酬等審議会条例の一部改正

町長及び副町長の給与に関する条例の一部改正



地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、4月1日から施行されることに伴い、教育委員長と教育長を一本化し新たな教育長を置くことにするための関連する条例の改正案を審議し、これを全会一致で可決しました。

これにより、教育長が教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表することになります。

従って、教育委員長の報酬は不必要となりますので報酬の定めを改正しました。教育長の報酬はそのままです。

- * 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例
- * 指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例の一部改正
- * 指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正
- * 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部改正

介護保険法の改正により、関連条例を改正する必要が出てきたことによる改正と、新たに介護予防支援に関する基準を制定するものです。

新たに制定した条例の主な内容は、指定介護予防支援等の事業に人員配置や適切な支援措置を行うための基準を定めるものです。

その他の改正案も、同様の基準に改正するものです。

いずれも原案どおり可決しました。



指定管理者の指定

- ① 野崎島自然学塾村
- ② 古民家島暮らし体験交流館
- ③ 地産地消古民家レストラン

指定管理の期限が来たので、改めて、契約を継続するものです。

野崎島自然学塾村は、NPOおぢかIT協会に、古民家とレストランは株式会社小値賀観光まちづくり公社に指定管理者の指定をすることを議会は認めました。

意見書可決

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書を衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣に送付することに決まりました。患者に対しての医療費助成を含む生活支援の具体的措置を講ずることを求めるものです。

いっぱんしつもん



近藤育雄議員

土曜日の授業の実施を検討する考えは？

条件を整える必要があり、現時点では難しいと思われる

【問】近藤議員

新聞報道で、鹿児島県で2015年から1学期もしくは2学期から、月に1回、第2土曜日の午前3時間の土曜授業を導入することが掲載された。

文科省は土曜授業について3つのタイプを想定している。

- 一、通常の授業を土曜日に行う。
- 二、体験学習などの通常の授業では出来ない取り組みを行う。
- 三、地域、保護者、民間企業などと連携して多様な活動を行う。

昨年の4月から実質解禁された公立学校の土曜授業は、各自治体の教育委員会の判断に委ねられている。

今後、当町においても

【答】浦 教育長

土曜授業の実施に向けた検討をしていく必要があると考えるが、教育委員会の方針を伺う。

脱ゆとり教育が実施される中で授業時間の確保の為に委員会あるいは学校等で話し合われた事があるか、併せて伺う。

「土曜日の教育活動推進プロジェクト」というプロジェクトが推進をされ、教育活動について学校と家庭と地域が連携し、役割分担をしながら取り組みの充実を図っていくことが重要であり、土曜日の授業もその方策の一つと考えています。

しかし、学校週5日制が定着している中で、何故また土曜授業なのかと



小値賀小中学校校門



いう疑問があり、全国的に見ても実施率は16、3%程度で慎重に対応している様子が伺われます。

長崎県において、平成26年度の土曜授業の実施校はないということでした。

小値賀町においても、地域の行事等がほとんど土曜日、日曜日に実施されているという状況の中で、土曜授業の時間が確保出来るのかどうか、大きな課題であり、教職員の勤務時間についても、週休日の勤務条件の整備も必要になってきます。

また、学校長との話の中でも「難しい。」との返事でした。

中身については教育委員や学校との会議の中で具体的に話し合われた事はありません。

以上のようなことで、現時点では中々難しいと考えております。

いっぱんしつもん



宮崎良保議員

西町政の、この4年間の自己評価は？

評価、審判は有権者の皆様に



【問】宮崎議員

町長に就任して4年間で、敬老祝い金の一律支給、小中学校建設に伴う学校給食の実施、福祉事

務所の創設など町民の安心安全な生活実現のため努力してきたと思う。

町長自身、この4年間の実績をどのように評価

しているのか、やり残したことはないのか、議会に対しての要望はないのか伺う。

また、2期目を目指すとしたら、どのような町づくりを考えているのか、その指針を伺う。

の立場で議論することになります。本会議場での議論の機会は増えたと感じています。

今後も機会



完成した小中学校給食合同調理場

【答】西 町長

町民の皆様との約束を確実に実現するよう努力してきましたが、交渉相手がいる場合もあり、実現できなかったこともありますので、ここでの自己評価はおこがましいと思います。

再出馬すること、評価・審判は有権者の皆様にしていただきたいと思っています。

国は、各自治体にまち、ひと、しごと創生総合戦略の策定を求めています。

この4年間、町民皆様のことを第一に公平・公正な町政に努めたつもりです。

今後も離島である小値賀町をいつまでも安心安全で暮らせる町、元気のある町にし、次世代に受け継ぎたいとの思いで2期目を目指してまいります。

去年の総合計画の策定により、町づくりの方針が示されており、これを基準にして施策をさらに補強し、一段と地方創生、地域再生を進める必要があると考えています。

議会の委員会活動を振り返って 各委員長に聞く

本町議会はこの4年間、議会改革に取り組んできましたが、より具体的な事案は委員会を中心にして進められました。小値賀町の発展のための政策や課題に対する各委員会の取り組みの報告及び2年間を終えた感想を述べてもらいました。

ふるさと納税を 積極活用

総務文教厚生常任委員会

委員長 宮崎良保

所管の施設については、常にチェックし、課題があれば、執行部に対応を求めています。

特別養護老人ホームの待機者問題も重要問題として所管課に対して必要な事柄の早急な対応を求め、急速に増加している独居老人世帯の問題に関しては、新たなケアシステム構築の必要性を指摘してきました。

ふるさと納税についてはかなりの時間をかけて調査研究をしました。今後も、小値賀町の活性化の方策の一つとして実施に向けて検討すべきと考えます。

今期の委員会の任期はあとわずかですが、町の課題は山積しており、重要項目については、次の委員会に引き継ぎ、

継続協議をお願いする
ことと致します。

第6次産業化への 取り組みを

産業建設常任委員会

委員長 松屋治郎



取り組もう！6次産業化

最初、重点的に調査検討する項目を次の4つ掲げ、この2年間活動してまいりました。

- ① 離島振興法を活用した新たな産業振興策の模索
- ② スキューバダイビング導入による漁業振興
- ③ 6次産業化の推進
- ④ 町有財産の利活用

国への陳情や官僚との意見交換を通して、産業振興策について検討しました。

また、6次産業化の先進的取り組みを行っている関東の若手漁師へ聞き取り調査や市場視察を行いました。これらを基にして本町においての具体化について協議を重ねました。

さらに、スキューバダイビングショップやツアー会社などからの意見を聴取し、本町における導入の是非について研究し議論を進めました。これらを実際に取り組むために、漁業者や町民との対話を重ね、意欲の喚起を図ることが大切だと思います。

今後の産業建設常任委員会においても、これらの課題を継続して取り組んでいただくことを期待します。

藻場再生の取り組み 今後も積極的に

藻場再生調査特別委員会

委員長 末永一朗



平成24年3月6日に設置して以来、これまで20数回の研究及び講義や具体的取組のための委員会を開催しました。

最初は、水産庁や県水産部が出した対策ガイドライン等をもとに、磯焼けのメカニズムや藻場再生の方法についての研究を行いました。

藻場の再生に関する講演会を開催したり、町の取り組みの現場視察や、他の自治体や漁協の取り組みの調査も行いました。

アマモシートの設置実験を担当職員と委員会で行い、次年度の本格的な事業へ結びつけました。東京海洋大学の藤田教

授に來島いただき、専門的な調査をし勉強会を開きました。海水のサンプルの分析の結果、小値賀の海水の栄養分が不足しているなどの科学的な現状把握ができました。

アマモシートの設置作業は複数回行いましたが、その後の追跡調査では、効果が少なく、今後は、地元の種を活用するなど、やり方を工夫する必要があります。

ウニフエンスや食害対策などで、一部ではありますが藻場の再生が見受けられ、さらに範囲を広げていく取り組みを続けていくことになっており、27年度の予算にも反映されており、

これまでの実績をふまえ、今後も藻場再生に取り組んで欲しいと思っており、次の議会に期待します。

読みやすい紙面づくりと 情報提供の大切さを痛感

広報常任委員会

委員長 浦英明

研修会に出席して議会広報の勉強をするなどして、読みやすい紙面づくりに取り組みました。

目を引く表紙をどう作るか、手に取ってもらうためには、どのような工夫をすればいいのか、読みやすい文章や記事の配置、効果的な写真の使い方などに気を配ってきました。

また、見出しの表現や位置にも、かなり神経を使ったつもりです。

議会のニュースでもあるので、定例会が終われば、できるだけ早く発行することも心がけました。

話題性のあるテーマを取りあげたのも、少しでも議会だよりを手につけていただきたいためでした。このように皆様の役に立つ情報誌として、議

議会改革の推進に 重点をおいて

議会運営委員会

委員長 末永一朗

議会運営委員長という大役を受けて無事終えようとしていることに安々と、委員の皆様への感謝

の気持ちでいっぱいです。

議会運営委員会は議会の要となる委員会なので、最初は不安が大きかったのですが、皆さんのお力添えで大過なく役目を果たすことができました。

この4年間は、重点的に議会改革に取り組ましました。従来は、当たり前だと思っていた議事の進行についても、見直すことで議会が活性化するのを感じました。

会期や会議の回数が増え幅に増えたことも大変なことであつたけど、充実感を味わっています。皆さんの協力に感謝いたします。



議員及び委員会提出条例議案と結果

平成	会議名	種別	件 名	提 出	議決結果
24 年	3 月定例会	条例	敬老祝金支給条例一部改正案	伊藤忠之議員	可決
25 年	6 月定例会	条例	報酬及び費用弁償の特例（減額）	議会運営委員会	可決
26 年	1 月臨時会	条例	議決に付すべき事件の条例	議会運営委員会	可決
	6 月定例会	条例	議会委員会条例の一部改正	議会運営委員会	可決
	12 月会議	条例	議員定数条例の一部改正	松屋治郎議員	可決
	12 月会議	条例	債権管理条例	伊藤忠之議員	可決
27 年	3 月定例会	条例	議会委員会条例の一部改正	議会運営委員会	可決
	3 月定例会	条例	地方創生推進のための議員報酬特例	地方創生特別委員会	可決

年別 町民との意見交換会

	出前議会 日数	出前議会開 催箇所数	議会と語ろ う会日数	あおぞら座 談会日数	給食問題 公聴会	合計
平成 23 年				1 日		1 日
平成 24 年	9 日	17 か所		1 日	4 日	14 日
平成 25 年	8 日	17 か所	3 日	1 日		12 日
平成 26 年	5 日	17 か所	3 日			8 日
合計	22 日	51 回	6 日	3 日	4 日	35 日



月まで 8 件が提案されており、また、これ以外に町長提出の予算や条例案に対する修正案も 4 年間で 10 件提出されているなど、以前からすると、格段に議会が活発化したことが分かります。

町民と共にある議会を目指して、上記の表にあるように出前議会、議会と語ろう会など 4 年で 35 日間費やしています。

4 年間の取り組みは、後期高齢者医療問題、福祉事務所問題など、福祉や医療などの方面で具体的な効果をもたらしているし、藻場再生や航路問題、税の滞納問題など議会の行動が周りを動かすきっかけになっています。

町民と共に議会版第 4 次総合計画の策定に取り組んだことや出前議会実施などの数々の議会の活性化策の実施で、議会改革ランキングもベスト 300 に入るなど、実績も重ね、昨年、マニフェスト大賞優秀成果受賞などたくさんさんの評価をいただいています。

おかげで、その後、2 つの議会から小値賀まで議会の視察に来られました。

参考までに、一般質問の回数のランキングを下記に示しています。

他にも議会白書のデータをまとめていますが、紙面の都合上、割愛させていただきます。

4 年間の一般質問者と回数（平成 23 年 4 月～平成 27 年 3 月）

近藤育雄議員	1 3 回 1 8 項目	空き家関連・診療所駐車場整備・観光拠点整備・学校教育・葬斎場関連・港の駐車場整備・枯松処理・道路の保全・野崎島の施設整備など
宮崎良保議員	7 回 1 0 項目	医療、福祉、教育問題・基幹産業の振興・敬老祝金・有害鳥獣問題・野崎島の自然再生・老人福祉施設問題・介護ケアシステムづくりなど
小辻隆治郎議員	7 回 9 項目	観光関連・磯焼け関連・診療所医師体制・歴民関連・人口問題・高校存続問題・沖の神島神社問題など
伊藤忠之議員	7 回 8 項目	人口減少問題・学校給食問題・予算編成・人と農地問題・地域雇用創造事業・農業振興・滞納対策など
松屋治郎議員	7 回 8 項目	観光問題・雇用創出問題・活性化策・プレミアムつき商品券・人口増加策など
末永一朗議員	7 回 7 項目	第一次産業振興・まちづくり・磯焼け問題・F R P 廃船問題・6 次産業化・観光振興など
浦 英明議員	4 回 6 項目	燃油代補助・敬老祝金・磯焼け対策・アマモ再生・校舎建設関連・空き家問題など
土川重佳議員	4 回 4 項目	港ターミナルの整備・メス牛貸付制度・ふるさと納税・新田の整備等
岩坪義光議員	3 回 4 項目	小値賀交通関連・防災計画・安心老後システムづくり・診療所問題等

この 4 年間を振り返って

議 会 白 書

年別 会期・本会議日数

	会期日数	本会議	会期中委員会	会議合計
15 ～ 22 年平均	17 日	11 日	2 日	13 回
平成 23 年	21 日	13 日	2 日	15 回
平成 24 年	25 日	13 日	5 日	18 回
平成 25 年	29 日	12 日	5 日	17 回
平成 26 年	203 日	12 日	5 日	17 回
平成 27 年	9 日	3 日	7 日	10 回

特別委員会開催日数（予算・決算特別委員会は除く）

	敬老祝金特 別委員会	藻場再生特 別委員会	滞納特別 委員会	国境離島新法 特別委員会	合計
平成 23 年	7 回				7 回
平成 24 年	2 回	10 回			12 回
平成 25 年		7 回	4 回		11 回
平成 26 年		3 回	5 回	5 回	13 回

年別 常任委員会等開催日数

	総務文教 厚生常任 委員会	産業建設常 任委員会	広報常任 委員会	議会運 委員会	特別委員 会合計	合計	月平均
平成 23 年	9 回	6 回	2 1 回	5 回	7 回	4 8 回	4 回
平成 24 年	7 回	5 回	2 2 回	5 回	12 回	5 1 回	4.3 回
平成 25 年	1 4 回	1 3 回	2 4 回	6 回	11 回	6 8 回	5.6 回
平成 26 年	9 回	6 回	1 9 回	4 回	13 回	5 1 回	4.3 回

全員協議会開会状況

	平成 15 ～ 22 平均	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
開催回数	1 5 回	1 5 回	3 2 回	2 7 回	4 1 回
月平均	1.3 回	1.3 回	2.7 回	2.3 回	3.4 回

能動的に機能する議会を目指して、議会改革に取り組んできた 4 年間でした。

上記の表にあるように、会期日数及び会議日数が従前より増え、委員会の開催日数に関しては、上記表にあるように約月平均 4 日、そして、全員協議会は、平成 26 年には月平均約 3 日となっています。

合わせると月に 1 週間、何らかの会議が開かれていることになります。

これ以外にも議会報告会などや町内の行事に来賓としての出席や政策研究や、議案などの調査研究などの個人的活動が加わり、議員としての諸活動がかなり多くなっています。

政策を提案する議会を目指しての取り組みは、左記の委員会・議員提出の条例案にあるように、24 年から 27 年 3



議長・副議長室にて

現在の議員の任期が終わりに近づいています。

この 4 年間の議会活動をまとめてみました。

この議会白書は、議会の活動を知って、参加していただくよう、協働型の議会を目指し、「議会の見える化」を図るものです。

若手議員・女性議員 いつでるの？ 今でしょ

地方創生推進のために、次回選出の議員のうち、働き盛りの50歳以下の議員の報酬は30万円にする条例を可決

特別委員会を設置し

地方創生戦略策定に取り組み

平成27年第1回定例会の初日に、地方創生まちづくり特別委員会を設置し、本町の戦略策定の準備を図ることにいたしました。

委員長に土川議員、副委員長に宮崎議員が選出されました。第1回目の委員会が3月6日に開催され、今後の手順や方向性について協議しました。

その中で、地方創生の中心は何と言っても働き盛りの若手や女性であることから、議会においても今こそ若手議員や女性議員が必要であるとの考えに達しました。

地方創生推進のために、議会の門戸を開くための特例として、50歳以下の議員の報酬は、月額30万円（課長級の給与と同等）とする条例案を委員会提出の議案とするこ



とを決定、最終日の3月11日に特別委員会から提案し全会一致で可決されました。（51歳以上の議員は現状のままです。）

若手が立候補しやすい環境を少しでもつくりだすために制定したものです。若い人の立候補を期待します。

今後の小値賀にとって大変重要な4年間になります。

皆さんの力を小値賀の町政に活かしてください。

そして、地方創生まちづくり特別委員会の今後の活動に注目してください。

伊藤副議長と岩坪議員が 自治功勞表彰されました



今回、全国議長会及び長崎県町村議会議長会より、伊藤副議長と岩坪議員が議員歴15年の自治功勞に対して表彰されました。

3月3日の議事日程終了後、議場にて表彰状伝達がなされました。

両議員とも平成11年に初当選以来、本年度4期目です。今後もお体に気を付けてご活躍されることを願っております。

【伊藤副議長・岩坪議員コメント】

町民の皆様のご支援により、16年間、議員活動が出来、感謝申し上げます。地方自治の主役は町民です。小値賀の発展に頑張ります。

編集後記

町議会議員任期最後の定例会が終った。

風呂に入ってお茶を飲みながらの編集。

4年連続しての広報委員を務め、読みやすい紙面、分かりやすい内容と努力してきたつもりだったが、最後の紙面作りとなり、これでもうすぐ卒業。

北松西高校での卒業式での校長先生の送る言葉を思い出す。

「ありがとう」の感謝の言葉。

「どうぞ」の謙虚な言葉。

単純な言葉だけど大事にしたい言葉だと身にしみた。

何気ない言葉だけど胸に染みみた。

外はもう春の香りが・・・。

宮崎良保